

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
22001	X-31-B-1-220019				×	×	×
授業科目	担当教員						
経営学入門	土屋 翔	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × 専門 専門	× × × × 必修 必修	× × × × 1年 1年

### 授業目的

本講義では、経営学の中でも基礎理論を包括的に学ぶ。また、事例を例示することにより理論習得を深める。さらに、一つの事例に対して多様な視点から考察することにより、視点を複数持つ重要性を身につけることができる。以上を学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。

### 各回毎の授業内容

#### 第 1 回

【授】ガイダンス（講義の要旨、評価基準、講義進行の方法等）  
【前・後】当日の講義内容を復習する。予習復習に4時間。

#### 第 2 回

【授】経営学とは何か  
【前・後】経営学の全体的な枠組みを復習する。予習復習に4時間。

#### 第 3 回

【授】身近にある経営  
【前・後】経営学視点で身近な事象をみてみる。予習復習に4時間。

#### 第 4 回

【授】組織と管理とは何か  
【前・後】主要概念である組織と管理との重要性を確認する。予習復習に4時間。

#### 第 5 回

【授】組織形態の概念  
【前・後】組織形態から有名企業を見てみる。予習復習に4時間。

#### 第 6 回

【授】組織のサービスと影響力  
【前・後】現代社会における組織の重要性を身近な事例から考察する。予習復習4時間。

#### 第 7 回

【授】ブラック企業の間  
【前・後】ブラック企業問題を経営学視点から考察する。予習復習4時間。

#### 第 8 回

【授】組織の多様な目的  
【前・後】営利以外の多様な組織体を考察する。予習復習4時間。

#### 第 9 回

【授】組織の社会的責任①  
【前・後】講義内容から組織における責任を考察する。予習復習4時間。

#### 第 10 回

【授】組織の社会的責任②  
【前・後】今後、どのような責任が求められるか考察する。予習復習4時間。

#### 第 11 回

【授】今日の組織化の動き  
【前・後】時事から見る組織行動の考察する。予習復習4時間。

#### 第 12 回

【授】経営学の汎用性  
【前・後】再度、経営学視点で事象をみてみる。予習復習4時間。

#### 第 13 回

【授】経営学の限界性  
【前・後】経営学の特性上、限界があることも理解する。予習復習4時間。

#### 第 14 回

【授】確認テストと人間の限界性  
【前・後】人間には限界があることを理解し、協働の必要性を再確認する。予習復習4時間。

#### 第 15 回

【授】総まとめとフィードバック  
【前・後】経営学視点とは何かを再度確認する。予習復習4時間。

#### 第 16 回

### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							70
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							30
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

応用試験（小論文 A4両面2、3枚、持ち込み不可）：70%、授業態度・授業への貢献度：30%、で評価する。

第15回の授業で、応用試験の優秀答案や答案の解説、改善等のフィードバックをする。

### 教科書参考書

基本的に指定はしない。その代わりに、講義中多様な資料から解説を行う。講義内容を良く聞き、良くメモを取ることを求める。

#### 受講に当たっての留意事項

1. 状況によって講義内容の順番が前後する。または、他の内容に置き換える可能性がある。
2. 試験は論文形式のため、文章を書けるように努力する。
3. 資料は、配布しない。当日、提示するものを書き取る。
4. 講義開始前に、前講義のフィードバック、時事問題を多数扱う。

### 学習到達目標

- ①組織とは何か、組織は私たちにどのような影響を与えているのか、を理解（確認テスト：40%）
- ②管理とは何か、管理する経営資源とは何か、具体的にどのように管理すればいいのか、を理解（確認テスト：30%）
- ③多様な視点で物事を考察し、方法論を立案する力を習得（授業貢献度：20%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習